

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 学びの改革担当

内線: 6773

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B41	「教育の情報化」基盤整備費			一般会計	教育費	高等学校費	教育振興費	情報教育推進費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成	
					分野施策	030622	質の高い学校教育の推進		
1 事業の概要 県立学校間ネットワーク、校内LAN、教務事務システム、教員用コンピュータ等の「教育の情報化」に係る基盤を整備する。 (1) 教務事務システム管理運営費 △4,364千円 使用賃借料が見込みを下回ったことによる減 (2) 教員用コンピュータ管理運営費 △ 957千円 使用賃借料が見込みを下回ったことによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ICT活用推進研修(教員研修 5回) 632千円 イ 教務事務システム管理運営費(教務事務システム) 45,308千円 ウ 校内用コンピュータ管理運営費(校内PC賃貸借 175校) 137,939千円 エ 教員用コンピュータ管理運営費(ノートPC等賃貸借 12,147台) 168,683千円 オ 生徒用コンピュータ管理運営費(PC教室賃貸借 313教室) 480,739千円 カ 教育情報ネットワーク管理運営費(県立学校間ネットワーク運営管理) 280,180千円  (2) 事業計画 ア ICTを効果的に取り入れた事業実践のための教員研修を行う。 イ 教務事務システムを利用することで校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を増加させる。 ウ HR、図書館、進路指導室等の共用PCを整備する。 エ 成績処理、教材作成に係る負担軽減のための教員用PCを整備する。 オ 授業で使用するコンピュータ教室用機器を整備する。 カ 学校間ネットワーク・統合ファイルサーバーを管理運営及びそれらのセキュリティ対策を行う。  (3) 事業効果 ア 生徒の興味・関心を高め、わかる授業が展開できる。 イ 校務の効率化を図ることができる。 ウ 進路指導・就職指導の充実に加え、生徒のICT社会に生きる力を育成できる。 エ 学習指導要領に定められた情報教育を行うことができる。 オ 校内LAN及び県立学校間ネットワークの円滑な運営を行うことができる。  (4) 補正予算の概要 (1) 教務事務システム管理運営費: 使用賃借料が見込みを下回ったことによる減額。 (2) 教員用コンピュータ管理運営費: 使用賃借料が見込みを下回ったことによる減額。					
2 事業主体及び負担区分 (1)～(6) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分) 高等学校費(細目) 学級経費 (細節) 学級経費 (積算内容) 教育用コンピュータ整備費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.4人=32,300千円									
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額									
決定額	△5,321							△5,321	1,108,160
現計額	1,113,481							1,113,481	